



ライフスタイル大賞 金賞
Bluetooth完全ワイヤレスイヤホン/
ノイズキャンセリング(3万円以上3.5万円未満)

ノイズキャンセリング完全ワイヤレスイヤホン

JBL TOUR PRO 2

¥OPEN(直販サイト価格¥33,000/税込)

SPEC ●通信方式: Bluetooth5.3 ●ドライバー口径: 10mm ●対応コーデック: SBC, AAC, (LC3対応予定) ●連続再生時間: 8時間(ケース込み32時間)※ANC ON時 ●質量: 約12.2g(左右両側合計)、73g(ケース) ●付属品: イヤーチップ(3種類)、USB Type-C充電ケーブル

ここがポイント!



新設計の10mm径振動板
高剛性のポリエチレンナフタレートベースに、DLCをコーティングした独自10mm径振動板を採用。JBLの音響テクノロジーと相まって、解像度の高いサウンドを再生します。

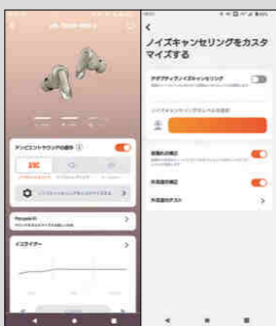


アプリの機能をケースに

世界で初めて1.45インチのスマートタッチディスプレイを充電ケースに搭載。スマホアプリで行える「空間サウンド」機能などを、PCやゲーム機と繋げた際も使えます。

音を自分用に最適化できる

個人の聴覚特性に合わせて音を最適化する「Personi-Fi 2.0」機能を搭載するほか、ノイズキャンセリングはリアルタイムの自動補正ほか、お好みで7段階のレベル選択を選ぶことができるため、常に周囲の騒音を気にせず良質な音を楽しめます。



そしてもちろん、部門金賞&ライフスタイル大賞という評価の土台は完全ワイヤレスイヤホンとしての基本要素の優秀さ。超低域まで伸びる現代的で豊かな低音表現を備えつつ、そこだけを目立たせることなく低音から高音までのバランスにも優れた良音質。新ショートステイック形状による装着の快適さ。不安を感じさせないバッテリー性能。周囲の環境に合わせて自動調整されるアダプティブノイズキャンセリング。それらが合わさって「いつでもどこでも最高の音楽体験」というポータブルオーディオの理想を実現してくれる。そんな完全ワイヤレスイヤホンがJBL TOUR PRO 2です。

進化した音、新発想の操作性 音楽体験が一変する 完全ワイヤレス

ディスプレイ付きのケースなどデザインのインパクトも大きい、見た目以上に、音や装着性、利便性が高い「TOUR PRO 2」。今期を代表するイヤホンの魅力を紹介しします。



フラグシップに恥じめ
良音質をどこでも

VGP審査員 高橋 敦

完全ワイヤレスイヤホンはVGPにおいても特に激戦のカテゴリーです。その激戦区で審査員全員が迷いなく部門金賞に頷き、カテゴリーの垣根を超えたライフスタイル大賞の審査においても同じく異論なしで認められたのがこの「JBL TOUR PRO 2」。2023年夏にVGPが自信を持って推す完全ワイヤレスイヤホンとなります。

ユニークなのはケースに搭載したスマートディスプレイ。ノイズキャンセリングの切り替え、再生操作や音量調整などを、ケースの画面のタッチ操作で行えます。イヤホン本体の手探りタッチ操作と比べると、画面を目で確認しながらの操作はとても快適。スマホアプリでの操作と比べても操作ステップの少なさという強みがあります。

とはいえJBLイヤホンはアプリも優秀。操作やアンビエントモード、イコライザーのカスタマイズなどに大活躍してくれます。加えてTOUR PRO 2には、個人差や年齢による聴力の違いに合わせた補正を行いより正確な音を再生する「Personi-Fi 2.0」機能も搭載されており、その初期設定にはアプリが必須。ぜひ活用を。

VGP連続金賞獲得! 映画館を連れてくる サウンドバー

数多くの映画館で採用されているプロフェッショナル・ブランド、JBL。バッテリー内蔵のワイヤレスリアスピーカーを一体化させた、サウンドバーの究極形「JBL BAR 1000」が、連続金賞の荣誉に輝きました。



本体から分離して
完全ワイヤレスのリアスピーカーに!

サウンドバー

JBL BAR 1000

¥OPEN(直販サイト価格¥143,000/税込)



金賞

サウンドバータイプTV用オーディオ
(10万円以上15万円未満)

SPEC ●総合出力: 880W ●スピーカー構成: 7.1.4ch ●接続端子: HDMI×1(eARC対応)、HDMI入力×3、光デジタル音声入力、LANほか ●外形寸法: 1194W×56H×125Dmm(サウンドバー部/リアスピーカー装着時)、305W×440H×305Dmm(サブウーファー) ●質量: 約6.5kg(サウンドバー部/リアスピーカー装着時)、約10kg(サブウーファー)



バーチャルではない
リアルな立体音響

VGP審査員 高橋 敦

新製品が続々と登場する「サウンドバー」の分野で、圧倒的な支持を集めて2期連続金賞を獲得したモデルが「JBL BAR 1000」です。

最大の特長は、音声も電源も「完全ワイヤレス」で使えるリアスピーカーが、サウンドバー本体左右にドッキングされていること。一般的なサウンドバーは、前方のテレビの前のみ設置し、後方からの「音」はヒトの錯覚を応用したバーチャル技術で再現しています。しかし、BAR 1000は実際にリアスピーカーを視聴位置の後方に設置することで、音に包み込まれる感覚が圧倒的に「リアル」になります。スピーカー同士はワイヤレスで連携するため、ケーブルがごちゃごちゃすることもなく、一般的なご家庭で導入しやすいのも画期的です。また、映画館でも採用されているドルビーアトモスやDTS:Xといった、上下方向の音場も楽しめる3Dサラウンドにもリアル対応。JBL独自の「MultiBeamテクノロジー」技術により、スピーカーの音をビーム化して、壁反射を利用して音を視聴者に届ける仕組みを持っています。また、サウンドバー本体およびワイヤレスリアスピーカーともに、天井方向に向けた「イネーブルドスピーカー」を搭載しています。つまり、バーチャルではない、完全リアル志向の7.1.4chイマージョンサラウンドにより手軽かつ超立体サラウンドをもたらしてくれるというわけです。そのためBAR 1000には全15基のスピーカーが搭載されています。

実際に体験すると、基本となる音質のよさも驚くべきもの。パワフルなサブウーファーと併せ、肉厚でリッチな映画サウンドを楽しむことができます。繊細で張りを感じる効果音も心地よく、全方位から包み込まれる感覚は、このサウンドバーならではの。音質と最高峰のサラウンド効果を求めるなら、本製品で決まりです。

ここがポイント!



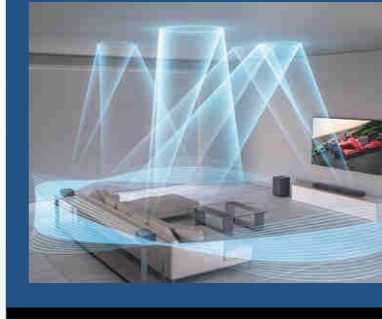
合体分離型
スピーカー

バッテリー内蔵のワイヤレスリアスピーカーが、サウンドバー本体左右にドッキングされています。ケーブルいらずで、視聴位置後方にスピーカーを設置できるので、音に包み込まれるリアルなサラウンドを実現できます。



合計15個の
ユニット

サウンドバー本体にウーファー5基とツイーター3基とイネーブルド2基、分離できるリアスピーカーにはツイーター1基とイネーブルド1基、サブウーファーに1基。合計15基のスピーカーユニットを搭載しています。



MultiBeam
テクノロジー

音をビーム化して、壁に反射させて、リアルなサラウンドを創出する、JBL独自の高音質化技術が「MultiBeamテクノロジー」。リモコンボタンを5秒長押しするだけで、3分もかからず室内の音環境を測定し、最適化してくれます。

LINEUP

JBL BAR 500

¥OPEN(直販サイト価格¥71,500/税込)

サウンドバーとワイヤレスサブウーファーの組み合わせ、前方完結型のシステムで臨場感あふれる立体音響を楽しみたい方に推薦したい新製品。こちら「MultiBeamテクノロジー」を搭載しています。



こちらもおススメ!